

「古典式建築の観光人気」

辻本 浩一郎

最近タイ人の間では、古い時代に建てられ、西洋とタイの建築様式が融合した美しい建物を巡る観光が人気です。

西洋の影響はタイの芸術に深く浸透しており、特に建築の分野では、西洋とタイの芸術や文化を調和・融合させた独自の様式が生み出されました。至る所でその名残を見ることができます。

今回は、バンコクで最も古典的な様式の建築物を二つ紹介します。

<ジンジャーブレッドハウス>

1913年に建てられた築100年を超える木造家屋です。英国のビクトリア朝様式の住宅の影響を受けたジンジャーブレッドハウス建築様式にちなんで名付けられました。

この建築様式は家のあちこちに美しく繊細な透かし模様を使った装飾が施されているのが特徴です。現在は、訪れる人々が過去の生活の痕跡が残る建物を鑑賞したり、コーヒーやタイのデザートを楽しめるように、カフェ兼博物館として復元・改装され、管理されています。



【ジンジャーブレッドハウス内部】

<プラヤパラッツォホテル>

チャオプラヤ川に面したこのホテルは、およそ100年前に建設されたレトロで美しい貴族の旧邸宅です。パルディオ建築様式が採用され、西洋と中国の要素が組み合わされています。

この邸宅は裕福な中国貴族であったアマット・エック・プラヤ・チョンラフンファニッチによって建てられました。「アマット・エック」は当時の高位の公務員の称号、「プラヤ」は国王が公務員や貴族に授与された称号です。

その後、建物は学校として使用されましたが、1992年に閉鎖されると放置され、一時は廃墟と化していました。後にタイの建築家であるウィチャイ・ピタクワラートが建物を復元し、「プラヤ・パラッツォ（プラヤの邸宅）」と名付けられました。

2009年にホテルとして開業し、2017年には伝統的なタイ料理を提供するレストラン「プラヤ・ダイニング」がオープンしました。



【プラヤパラッツォホテル入口とレストランの伝統料理】

こちらの記事は、中国新聞 SELECT

「最前線ビジネスサポーター発」にも一部掲載されました。